

平成23年3月期 決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【 目 次 】

1. 平成23年3月期 決算ダイジェスト	P 2～7
2. 決算の概況	
(1) 損益状況	P 8～9
(2) 業務純益	P 10
(3) 利鞘	P 10
(4) 有価証券関係損益	P 10
(5) 有価証券の評価損益	P 11
(6) 自己資本比率(第二基準、国内基準)	P 12
(7) ROE	P 13
3. 貸出金等の状況	
(1) リスク管理債権(紀陽ホールディングス連結)	P 14
(2) リスク管理債権(紀陽銀行単体)	P 15
(3) 金融再生法開示債権(紀陽銀行単体)	P 16
(4) 開示債権における各種基準の比較(紀陽銀行単体)	P 17
(5) 業種別貸出状況等(紀陽銀行単体)	P 18
(6) 消費者ローン残高	P 19
(7) 中小企業等貸出比率	P 19
(8) 国別貸出状況等(紀陽銀行単体)	P 19
(9) 預金、貸出金等の残高	P 19

<参考資料>

(紀陽銀行分) 連結財務諸表・個別財務諸表	P 20～25
・連結財務諸表(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書)	
・個別財務諸表(貸借対照表、損益計算書)	

(注) 本資料のうち将来に関する事項につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

1. 平成23年3月期 決算ダイジェスト

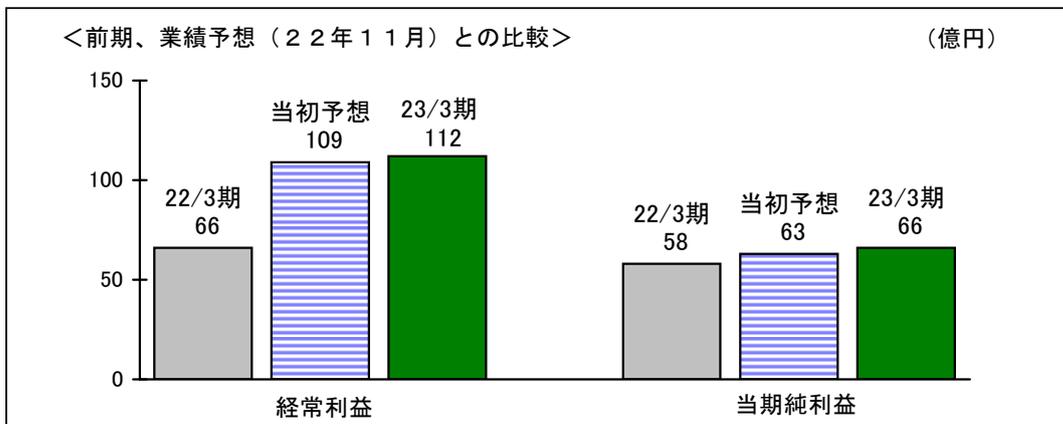
(1) 損益の状況

① 紀陽ホールディングス連結

○資金利益が前期比で11億円増加となったものの、債券ポートフォリオの改善を進めたことなどからその他業務利益が減少し、連結粗利益は前期比横這いの628億円となりました。
○また、株式関係損益の改善や与信費用の減少などから、経常利益は前期比46億円増加の112億円、当期純利益は前期比8億円増加の66億円となりました。

	23年3月期		22年3月期
		22年3月期比	
連結粗利益	62,857	△ 89	62,946
資金利益	52,284	1,147	51,137
役務取引等利益	6,710	△ 75	6,785
その他業務利益	3,861	△ 1,162	5,023
営業経費(△)	42,522	2,083	40,439
一般貸倒引当金繰入額①(△)	△ 1,352	△ 2,841	1,489
不良債権処理額②(△)	7,540	△ 518	8,058
(与信費用①+②)	(6,188)	(△3,360)	(9,548)
うち貸出金償却(△)	4,422	△ 864	5,286
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	2,743	806	1,937
株式関係損益	△ 3,311	3,877	△ 7,188
経常利益	11,249	4,623	6,626
特別損益	715	△ 1,508	2,223
うち償却債権取立益	2,035	△ 250	2,285
うち減損損失(△)	894	887	7
法人税等調整額(△)	4,555	2,357	2,198
当期純利益	6,637	801	5,836
(ご参考) 与信コスト総額	4,152	△ 3,110	7,262

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
3. 与信コスト総額 = 与信費用 - 償却債権取立益
4. (△) は損失項目です。



② 紀陽銀行単体

- 紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、前期比横這いの588億円となりました。
- 資金利益については、中小企業向け貸出や住宅ローン及び預金等の残高が増加したことや、国債等への投資を増加させたことなどから、前期比11億円増加の520億円となりました。
- 役務取引等利益については、前期比1億円減少の39億円となりました。
- 経費については、昨年5月に稼働した新基幹系システムの償却負担発生などにより、前期比25億円増加し、390億円となりました。
- 与信コスト総額については、お取引先の経営改善支援の取組み強化などの効果により、前期比26億円減少し、28億円となりました。
- 株式関係損益については、引き続き残高圧縮を進め、△32億円となりました。
- 当期純利益については、前期比7億円増加の83億円となりました。

	23年3月期		22年3月期
		22年3月期比	
業務粗利益	58,822	△ 86	58,908
資金利益	52,004	1,197	50,807
役務取引等利益	3,911	△ 156	4,067
その他業務利益	2,905	△ 1,128	4,033
うち債券関係損益	2,425	△ 1,361	3,786
経費(△)	39,055	2,584	36,471
一般貸倒引当金繰入額①(△)	△ 1,618	△ 2,780	1,162
業務純益	21,386	112	21,274
コア業務純益	17,341	△ 1,309	18,650
不良債権処理額②(△)	5,888	△ 349	6,237
(与信費用①+②)	(4,269)	(△ 3,131)	(7,400)
うち貸出金償却(△)	3,270	△ 716	3,986
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	2,320	749	1,571
株式関係損益	△ 3,281	3,929	△ 7,210
経常利益	12,923	4,536	8,387
特別損益	55	△ 1,717	1,772
うち償却債権取立益	1,374	△ 457	1,831
うち減損損失(△)	894	887	7
法人税等調整額(△)	4,586	2,048	2,538
当期純利益	8,332	772	7,560
(ご参考) 与信コスト総額	2,895	△ 2,673	5,568

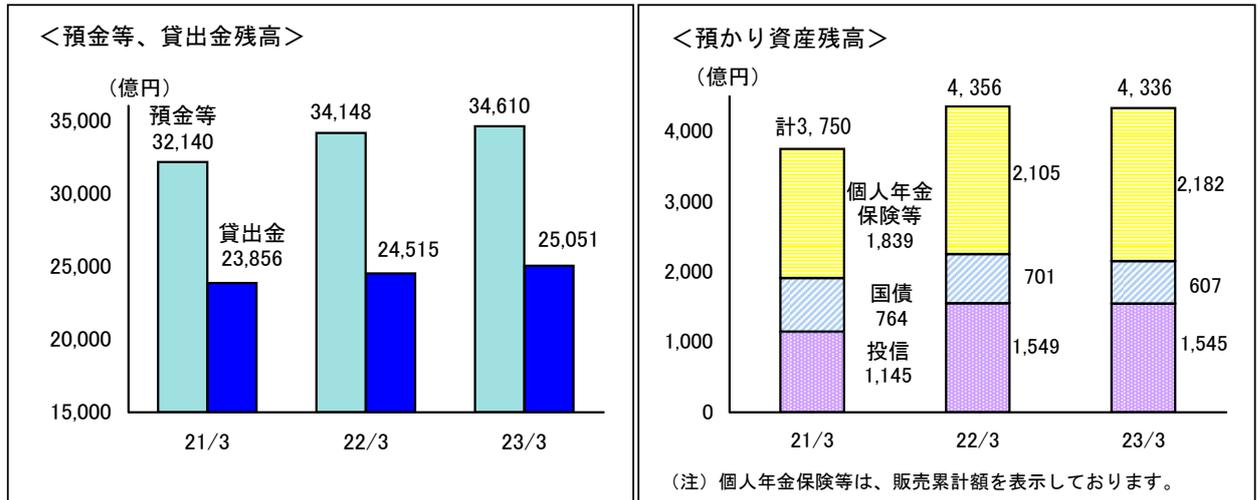
- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。
3. 与信コスト総額=与信費用-償却債権取立益
4. (△)は損失項目です。

(2) 主要勘定の状況 (紀陽銀行単体)

- 中小企業向け貸出や住宅ローンが引き続き順調に増加したことなどから、貸出金残高は、前期末比536億円増加の2兆5,051億円となりました。
- 預金・譲渡性預金合計は、個人預金を中心に増加し、前期末比462億円増加の、3兆4,610億円となりました。

(百万円)

(期末残高)	23年3月末		22年3月末
		22年3月末比	
貸出金	2,505,135	53,632	2,451,503
うち消費者ローン	881,407	26,993	854,414
預金・譲渡性預金合計	3,461,082	46,278	3,414,804
うち個人預金	2,597,400	69,869	2,527,531
預かり資産 (投資信託)	154,576	△ 365	154,941
預かり資産 (国債等)	60,790	△ 9,405	70,195
個人年金保険等販売累計額	218,276	7,720	210,556



(3) 有価証券の状況 (紀陽銀行単体)

- 有価証券投資については、引き続きポートフォリオの改善に注力いたしました。その他有価証券評価差額は、前期末比26億円改善し27億円(益)となりました。

<その他有価証券で時価のあるもの>

(百万円)

	23年3月末				22年3月末 (評価損益)
	貸借対照表計上額	評価損益	うち評価益	うち評価損	
株 式	35,897	△ 1,554	2,731	4,285	1,961
国内債券	432,006	4,910	5,812	902	1,123
外国債券	217,390	△ 3,875	1,459	5,335	△ 6,343
その他	15,426	△ 2,584	269	2,854	△ 3,129
うち投資信託	13,592	△ 2,567	263	2,831	△ 3,101
小 計	700,720	△ 3,103	10,273	13,377	△ 6,387
保有目的区分の変更による評価差額	—	5,803	5,803	—	6,485
合 計	700,720	2,700	16,077	13,377	97

(4) 不良債権の状況 (金融再生法開示債権) (紀陽銀行単体)

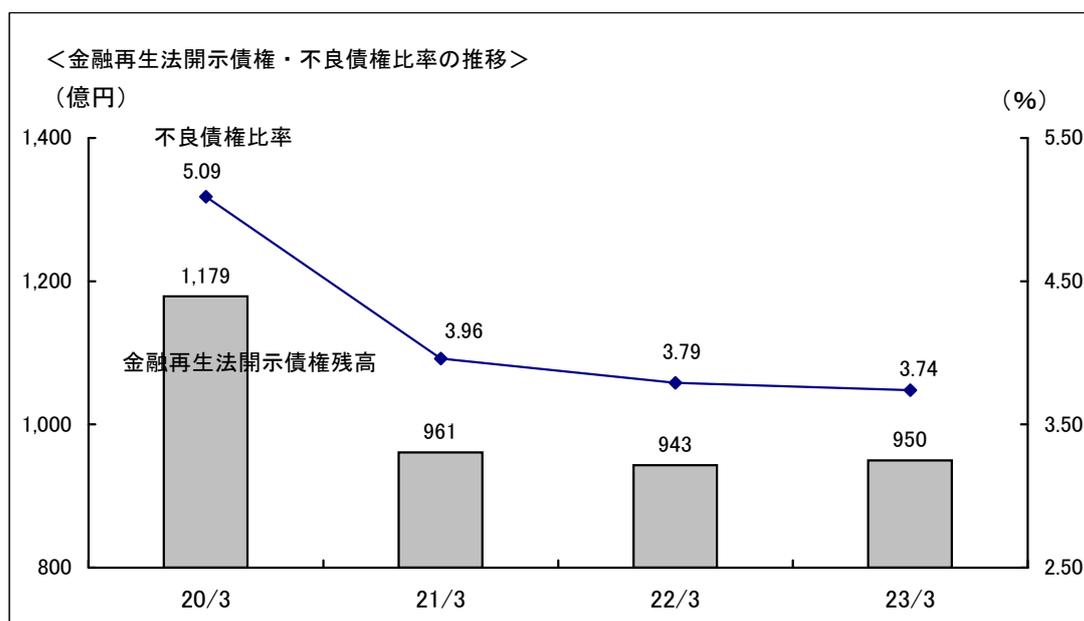
○金融再生法ベースでの不良債権残高は、前期末比7億円増加の950億円となりました。
 ○不良債権比率については、引き続きお取引先の事業再生や経営改善支援への取組み強化をおこなっており、前期末比0.05%低下の3.74%となりました。
 ○また、23年3月末の引当率は49.2%、保全率は85.3%となりました。

① 不良債権 (金融再生法開示債権) の状況

	23年3月末		22年3月末
		22年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	24,541	△ 3,778	28,319
危険債権	62,725	5,460	57,265
要管理債権	7,816	△ 958	8,774
小計 (不良債権)	95,083	724	94,359
正常債権	2,444,710	51,647	2,393,063
合計	2,539,793	52,370	2,487,423
再生法開示債権比率 (不良債権比率)	3.74%	△ 0.05%	3.79%

② 保全状況

	23年3月末		22年3月末
		22年3月末比	
不良債権額	95,083	724	94,359
担保・保証等	67,651	△ 1,527	69,178
不良債権額のうち、担保・保証等によりカバーされていない部分	27,431	2,251	25,180
貸倒引当金	13,504	△ 966	14,470
引当率	49.2%	△ 8.2%	57.4%
保全率	85.3%	△ 3.3%	88.6%



(5) 自己資本比率及び繰延税金資産の状況

- 紀陽ホールディングス連結の自己資本比率は、11.49%（前期末比+0.59%）となりました。また、紀陽銀行単体の自己資本比率は、10.92%（前期末比+0.50%）となりました。
- 紀陽ホールディングス連結の自己資本は、当期純利益を着実に計上したことにより、前期末比75億円増加の2,038億円となりました。
- 繰延税金資産のTier Iに対する割合は、紀陽ホールディングス連結で18.6%（前期末比△3.9%）、紀陽銀行単体では18.7%（前期末比△4.0%）となりました。

① 紀陽ホールディングス連結

(百万円、%)

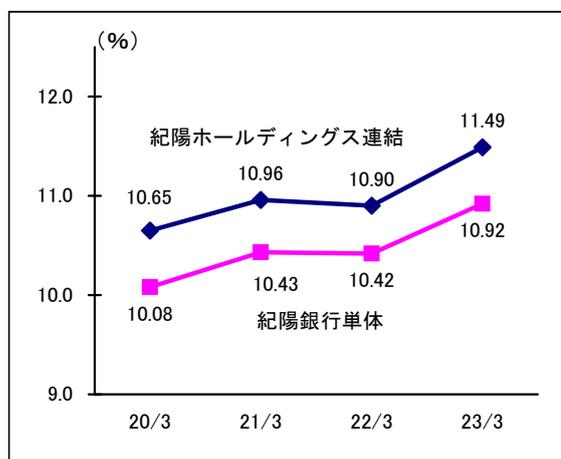
	23年3月末 (速報値)	22年3月末比	
		22年3月末	22年3月末
自己資本比率	11.49%	0.59%	10.90%
Tier I比率	8.67%	0.45%	8.22%
自己資本	203,885	7,504	196,381
うちTier I	153,996	5,870	148,126
うちTier II	49,889	1,634	48,255
リスクアセット	1,774,290	△ 26,551	1,800,841
繰延税金資産	28,788	△ 4,551	33,339
Tier I対比	18.6%	△ 3.9%	22.5%

② 紀陽銀行単体

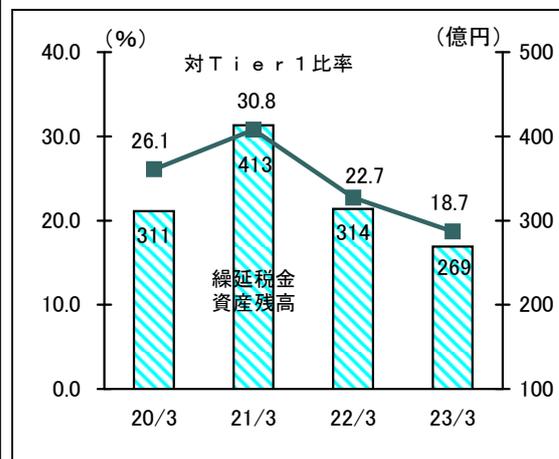
(百万円、%)

	23年3月末 (速報値)	22年3月末比	
		22年3月末	22年3月末
自己資本比率	10.92%	0.50%	10.42%
Tier I比率	8.12%	0.40%	7.72%
自己資本	192,676	5,916	186,760
うちTier I	143,290	4,971	138,319
うちTier II	49,386	946	48,440
リスクアセット	1,763,814	△ 27,069	1,790,883
繰延税金資産	26,904	△ 4,571	31,475
Tier I対比	18.7%	△ 4.0%	22.7%

<自己資本比率の推移>



<繰延税金資産の推移（紀陽銀行単体）>



(6) 平成24年3月期 業績予想・配当予想

① 業績予想

- 預金・貸出金残高は増加基調を維持できるものと考えており、さらに調達コストの低下も見込まれることから、資金利益につきましては、堅調に推移すると考えております。
- 役員取引等利益につきましては、投資信託の販売体制を強化し、さらに幅広く手数料収入の拡大に努めることから、前期比増加することを見込んでおります。
- 経費につきましては、新基幹系システム稼働時に発生した一過性の費用負担がなくなることなどにより、減少を見込んでおります。
- 与信コストにつきましては、地元企業の事業再生にかかる費用などが引き続き発生するものと考えております。
- 以上のような状況などを総合的に判断し、平成24年3月期の通期業績予想につきましては、連結経常利益97億円、連結当期純利益73億円を見込んでおります。

<紀陽ホールディングス連結>

(億円)

	平成24年3月期 第2四半期連結累計期間	平成24年3月期通期
経常収益	398	803
経常利益	41	97
当期純利益	35	73

<紀陽ホールディングス単体>

(億円)

	平成24年3月期 第2四半期連結累計期間	平成24年3月期通期
営業収益	34	35
営業利益	32	30
経常利益	32	30
当期純利益	32	30

<紀陽銀行単体>

(億円)

	平成24年3月期 第2四半期連結累計期間	平成24年3月期通期
経常収益	363	726
コア業務純益	92	195
業務純益	94	197
経常利益	50	115
当期純利益	44	90

② 紀陽ホールディングス配当予想

- 平成24年3月期の普通株式配当金につきましては、年間3円を期末一括でお支払いさせていただきますと予定しております。

	平成24年3月期 通期		
	中間	期末	
普通株式	—	3円00銭	3円00銭
第4回第一種優先株式	—	11円00銭	11円00銭
第二種優先株式	—	—	—

(注) 第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。

(注) 第二種優先株式は、平成23年9月30日までに普通株式を対価とする取得請求のなかった株式の全てを、平成23年10月1日をもって当社が取得し、当社の普通株式を交付する予定です。

2. 決算の概況

(1) 損益状況

	23年3月期		22年3月期
		22年3月期比	
(百万円)			
【紀陽ホールディングス連結】			
連結粗利益	62,857	△ 89	62,946
資金利益	52,284	1,147	51,137
役務取引等利益	6,710	△ 75	6,785
その他業務利益	3,861	△ 1,162	5,023
営業経費 (△)	42,522	2,083	40,439
一般貸倒引当金繰入額① (△)	△ 1,352	△ 2,841	1,489
不良債権処理額② (△)	7,540	△ 518	8,058
(与信費用①+②)	(6,188)	(△ 3,360)	(9,548)
貸出金償却 (△)	4,422	△ 864	5,286
個別貸倒引当金繰入額 (△)	2,743	806	1,937
その他の不良債権処理額 (△)	374	△ 460	834
株式関係損益	△ 3,311	3,877	△ 7,188
その他	414	△ 441	855
経常利益	11,249	4,623	6,626
特別損益	715	△ 1,508	2,223
うち償却債権取立益	2,035	△ 250	2,285
うち減損損失 (△)	894	887	7
うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 (△)	249	249	—
税金等調整前当期純利益	11,965	3,115	8,850
法人税、住民税及び事業税 (△)	633	△ 68	701
法人税等調整額 (△)	4,555	2,357	2,198
法人税等合計 (△)	5,188	2,289	2,899
少数株主損益調整前当期純利益	6,776		
少数株主利益 (△)	139	25	114
当期純利益	6,637	801	5,836
(ご参考) 与信コスト総額	4,152	△ 3,110	7,262

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
 + (その他業務収益 - その他業務費用)
 3. 与信コスト総額 = 与信費用 - 償却債権取立益
 4. (△) は損失項目です。

(連結対象会社数)

	23年3月期		22年3月期
		22年3月期比	
連結子会社数	7	—	7
持分法適用会社数	—	—	—

【紀陽銀行単体】

(百万円)

	23年3月期		22年3月期
		22年3月期比	
業務粗利益	58,822	△ 86	58,908
(除く債券関係損益)	56,397	1,276	55,121
資金利益	52,004	1,197	50,807
役務取引等利益	3,911	△ 156	4,067
その他業務利益	2,905	△ 1,128	4,033
国内業務粗利益	54,119	△ 690	54,809
(除く債券関係損益)	52,719	689	52,030
資金利益	48,778	777	48,001
役務取引等利益	3,858	△ 158	4,016
その他業務利益	1,481	△ 1,310	2,791
(うち債券関係損益)	1,399	△ 1,380	2,779
国際業務粗利益	4,703	605	4,098
(除く債券関係損益)	3,677	586	3,091
資金利益	3,226	421	2,805
役務取引等利益	53	3	50
その他業務利益	1,423	181	1,242
(うち債券関係損益)	1,025	18	1,007
経費(除く臨時処理分)(△)	39,055	2,584	36,471
人件費(△)	18,896	955	17,941
物件費(△)	17,753	1,245	16,508
税金(△)	2,405	384	2,021
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	19,767	△ 2,669	22,436
うちコア業務純益(注. 2)	17,341	△ 1,309	18,650
一般貸倒引当金繰入額①(△)	△ 1,618	△ 2,780	1,162
業務純益	21,386	112	21,274
うち債券関係損益	2,425	△ 1,361	3,786
臨時損益	△ 8,462	4,425	△ 12,887
不良債権処理額②(△)	5,888	△ 349	6,237
貸出金償却(△)	3,270	△ 716	3,986
個別貸倒引当金繰入額(△)	2,320	749	1,571
貸出債権譲渡損(△)	16	△ 365	381
その他の不良債権処理額(△)	280	△ 17	297
(与信費用①+②)	(4,269)	(△ 3,131)	(7,400)
株式関係損益	△ 3,281	3,929	△ 7,210
株式等売却益	76	△ 2,047	2,123
株式等売却損(△)	2,395	△ 262	2,657
株式等償却(△)	961	△ 5,715	6,676
その他臨時損益	707	146	561
うち退職給付信託設定益	—	△ 625	625
経常利益	12,923	4,536	8,387
特別損益	55	△ 1,717	1,772
償却債権取立益	1,374	△ 457	1,831
固定資産処分損益	△ 175	△ 124	△ 51
減損損失(△)	894	887	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(△)	249	249	—
税引前当期純利益	12,978	2,819	10,159
法人税、住民税及び事業税(△)	60	—	60
法人税等調整額(△)	4,586	2,048	2,538
法人税等合計(△)	4,646	2,048	2,598
当期純利益	8,332	772	7,560
(ご参考) 与信コスト総額	2,895	△ 2,673	5,568

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

3. 与信コスト総額=与信費用-償却債権取立益

4. (△)は損失項目です。

(2) 業務純益

(紀陽銀行単体)	23年3月期	22年3月期	
		22年3月期比	22年3月期
① コア業務純益	17,341	△ 1,309	18,650
職員一人当たり(千円)	7,553	△ 905	8,458
② 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	19,767	△ 2,669	22,436
職員一人当たり(千円)	8,609	△ 1,566	10,175
③ 業務純益	21,386	112	21,274
職員一人当たり(千円)	9,314	△ 334	9,648

(3) 利鞘

<全体>

(%)

(紀陽銀行単体)	23年3月期	22年3月期	
		22年3月期比	22年3月期
① 資金運用利回 (A)	1.70	△ 0.09	1.79
貸出金利回 (B)	1.88	△ 0.13	2.01
有価証券利回	1.45	0.05	1.40
② 資金調達原価 (C)	1.36	△ 0.04	1.40
預金等原価 (D)	1.36	△ 0.03	1.39
預金等利回	0.22	△ 0.05	0.27
経費率	1.14	0.03	1.11
外部負債利回	2.67	0.14	2.53
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.34	△ 0.05	0.39
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.52	△ 0.10	0.62

<国内業務部門>

(%)

(紀陽銀行単体)	23年3月期	22年3月期	
		22年3月期比	22年3月期
① 資金運用利回 (A)	1.63	△ 0.09	1.72
貸出金利回 (B)	1.88	△ 0.13	2.01
有価証券利回	1.39	0.04	1.35
② 資金調達原価 (C)	1.36	△ 0.02	1.38
預金等原価 (D)	1.34	△ 0.03	1.37
預金等利回	0.22	△ 0.05	0.27
経費率	1.12	0.03	1.09
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.27	△ 0.07	0.34
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.54	△ 0.10	0.64

(4) 有価証券関係損益

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月期	22年3月期	
		22年3月期比	22年3月期
債券関係損益(債券5勘定戻)	2,425	△ 1,361	3,786
売却益	8,205	3,371	4,834
償還益	—	—	—
売却損(△)	5,780	4,745	1,035
償還損(△)	—	—	—
償却(△)	—	△ 11	11

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月期	22年3月期	
		22年3月期比	22年3月期
株式関係損益(株式3勘定戻)	△ 3,281	3,929	△ 7,210
売却益	76	△ 2,047	2,123
売却損(△)	2,395	△ 262	2,657
償却(△)	961	△ 5,715	6,676

(5) 有価証券の評価損益

①有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

②評価損益

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	23年3月末			22年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	1,857	1,877	20	1,453	1,531	78
その他有価証券	△ 2,591	10,394	12,986	△ 5,854	9,574	15,429
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	5,849	5,849	—	6,537	6,537	—
合 計	5,115	18,122	13,006	2,136	17,644	15,507
株 式	△ 1,457	2,828	4,286	2,056	4,447	2,390
債 券	6,799	7,701	902	2,612	4,890	2,277
その他	△ 6,076	1,741	7,818	△ 9,071	1,768	10,839
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	5,849	5,849	—	6,537	6,537	—

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額を適用しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、23年3月末 830百万円、22年3月末 △1,897百万円であります。

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月末			22年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	1,857	1,877	20	1,453	1,531	78
その他有価証券	△ 3,103	10,273	13,377	△ 6,387	9,473	15,861
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	5,803	5,803	—	6,485	6,485	—
合 計	4,557	17,955	13,397	1,551	17,491	15,939
株 式	△ 1,554	2,731	4,285	1,961	4,351	2,389
債 券	6,780	7,682	902	2,593	4,885	2,292
その他	△ 6,472	1,737	8,209	△ 9,488	1,768	11,257
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	5,803	5,803	—	6,485	6,485	—

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額を適用しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、23年3月末 355百万円、22年3月末 △2,420百万円であります。

(6) 自己資本比率 (第二基準、国内基準)

【算出方法】

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	基礎的手法 (22年3月末) 粗利益配分手法 (23年3月末)

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	23年3月末 (速報値)	22年3月末比	22年3月末
	① 自己資本比率	11.49%	0.59%
② Tier I 比率	8.67%	0.45%	8.22%
③ 基本的項目	153,996	5,870	148,126
④ 補完的項目	49,889	1,634	48,255
(イ) うち一般貸倒引当金	11,089	△ 166	11,255
(ロ) うち負債性資本調達手段等	38,800	1,800	37,000
⑤ 控除項目	—	—	—
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	203,885	7,504	196,381
⑦ リスクアセット	1,774,290	△ 26,551	1,800,841
(イ) 信用リスク	1,670,423	△ 8,200	1,678,623
(ロ) オペレーショナル・リスク	103,866	△ 18,351	122,217

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月末 (速報値)	22年3月末比	22年3月末
	① 自己資本比率	10.92%	0.50%
② Tier I 比率	8.12%	0.40%	7.72%
③ 基本的項目	143,290	4,971	138,319
④ 補完的項目	49,386	946	48,440
(イ) うち一般貸倒引当金	10,347	△ 846	11,193
(ロ) うち負債性資本調達手段等	38,800	1,800	37,000
⑤ 控除項目	—	—	—
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	192,676	5,916	186,760
⑦ リスクアセット	1,763,814	△ 27,069	1,790,883
(イ) 信用リスク	1,666,932	△ 8,053	1,674,985
(ロ) オペレーショナル・リスク	96,882	△ 19,015	115,897

(ご参考)

(紀陽銀行連結)	23年3月末 (速報値)	22年3月末比	22年3月末
	自己資本比率	11.05%	0.55%

(7) ROE

(紀陽ホールディングス連結)	23年3月期		22年3月期
	22年3月期比		
当期純利益ベース(注1)	4.77	△ 0.12	4.89

(注1) $\frac{\text{当期純利益} - \text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計} - \text{少数株主持分} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{少数株主持分} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額})] \div 2} \times 100$

(紀陽銀行単体)	23年3月期		22年3月期
	22年3月期比		
業務純益ベース(注2)	19.87	△ 5.16	25.03
当期純利益ベース(注3)	7.33	△ 0.97	8.30

(注2) $\frac{\text{業務純益} - \text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額})] \div 2} \times 100$

(注3) $\frac{\text{当期純利益} - \text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額})] \div 2} \times 100$

3. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権 (紀陽ホールディングス連結)

* 部分直接償却実施後

* 未収利息計上基準：自己査定ベース

① リスク管理債権の状況

(百万円)

		23年3月末	22年3月末比	22年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	3,953	△ 2,071	6,024
	延滞債権額	82,790	4,501	78,289
	3カ月以上延滞債権額	54	△ 370	424
	貸出条件緩和債権額	12,909	1,491	11,418
	合計	99,708	3,551	96,157

(注) 部分直接償却による減少額

23年3月末：破綻先債権額 49,054百万円、延滞債権額 26,545百万円

22年3月末：破綻先債権額 58,014百万円、延滞債権額 25,561百万円

(百万円)

貸出金残高(末残)	23年3月末	22年3月末
	2,498,564	2,445,529

(%)

		23年3月末	22年3月末比	22年3月末
貸出金残高比	破綻先債権額	0.15	△ 0.09	0.24
	延滞債権額	3.31	0.11	3.20
	3カ月以上延滞債権額	0.00	△ 0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.51	0.05	0.46
	合計	3.99	0.06	3.93

② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

		23年3月末	22年3月末比	22年3月末
貸倒引当金合計		30,938	△ 2,033	32,971
	一般貸倒引当金	12,728	△ 1,352	14,080
	個別貸倒引当金	18,209	△ 681	18,890
	特定海外債権引当勘定	—	—	—

③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

		23年3月末	22年3月末比	22年3月末
部分直接償却前		66.99	△ 4.05	71.04
部分直接償却後		31.02	△ 3.26	34.28

(注) 貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権

(2) リスク管理債権 (紀陽銀行単体)

- * 部分直接償却実施後
- * 未収利息計上基準：自己査定ベース

① リスク管理債権の状況

(百万円)

		23年3月末		22年3月末
			22年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	3,991	△ 1,963	5,954
	延滞債権額	82,880	4,389	78,491
	3カ月以上延滞債権額	54	△ 370	424
	貸出条件緩和債権額	7,762	△ 588	8,350
	合計	94,688	1,467	93,221

(注) 部分直接償却による減少額

23年3月末：破綻先債権額 47,848百万円、延滞債権額 24,994百万円

22年3月末：破綻先債権額 56,842百万円、延滞債権額 23,984百万円

(百万円)

		23年3月末	22年3月末
貸出金残高(末残)		2,505,135	2,451,503

(%)

貸出金残高比			23年3月末	22年3月末
	破綻先債権額		0.15	0.24
	延滞債権額		3.30	3.20
	3カ月以上延滞債権額		0.00	0.01
	貸出条件緩和債権額		0.30	0.34
合計		3.77	3.80	

② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

	23年3月末		22年3月末
		22年3月末比	
貸倒引当金合計	26,910	△ 2,327	29,237
一般貸倒引当金	10,347	△ 1,619	11,966
個別貸倒引当金	16,563	△ 707	17,270
特定海外債権引当勘定	—	—	—

③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

	23年3月末		22年3月末
		22年3月末比	
部分直接償却前	66.04	△ 3.59	69.63
部分直接償却後	28.41	△ 2.95	31.36

(注) 貸倒引当率=貸倒引当金/リスク管理債権

(3) 金融再生法開示債権 (紀陽銀行単体)

* 部分直接償却実施後

① 金融再生法開示債権の状況

(百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	24,541	△ 3,778	28,319
危険債権	62,725	5,460	57,265
要管理債権	7,816	△ 958	8,774
小計①	95,083	724	94,359
(合計債権残高に占める比率)	(3.74%)	(△ 0.05%)	(3.79%)
正常債権	2,444,710	51,647	2,393,063
合計	2,539,793	52,370	2,487,423

(注) 部分直接償却による減少額

23年3月末：83,259百万円、22年3月末：91,485百万円

② 金融再生法開示債権の保全状況

(百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年3月末
保全額②	81,155	△ 2,493	83,648
貸倒引当金	13,504	△ 966	14,470
担保・保証等	67,651	△ 1,527	69,178
保全率②/①	85.3%	△ 3.3%	88.6%

<平成23年3月末>

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	24,541	62,725	7,816	95,083
担保・保証等(B)	23,297	41,408	2,945	67,651
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	1,243	21,316	4,871	27,431
対象債権に対する貸倒引当金(D)	1,243	11,049	1,211	13,504
引当率(D)/(C)	100.0%	51.8%	24.8%	49.2%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	83.6%	53.1%	85.3%

<平成22年3月末>

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	28,319	57,265	8,774	94,359
担保・保証等(B)	24,998	40,806	3,373	69,178
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	3,320	16,458	5,400	25,180
対象債権に対する貸倒引当金(D)	3,320	9,684	1,465	14,470
引当率(D)/(C)	100.0%	58.8%	27.1%	57.4%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	88.1%	55.1%	88.6%

(4) 開示債権における各種基準の比較 (紀陽銀行単体)

< 23年3月末 >

(単位: 億円)

自己査定結果					金融再生法開示債権				リスク管理債権	
債務者区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・ 保証等 による 保全額	引当額	保全率	区分	貸出金
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 41	13	27	— (3)	—	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 245	232	12	100.0%	破綻先債権	39
実質破綻先 204	160	43	— (9)	—	危険債権 627	414	110	83.6%	延滞債権	828
破綻懸念先 626	383	140	102 (110)		要管理債権 78	29	12	53.1%	3カ月以上 延滞債権	0
要 注 意 先	要管理先 127	22	104		小計(A) 950	676	135	85.3%	貸出条件 緩和債権	77
	要管理先 以外の 要注意先 3,473	1,478	1,994		正常債権 24,447				リスク 管理債権 合計(C)	946
正常先 20,779	20,779				総与信(B) 25,397				貸出金 残高(D)	25,051
合計 25,252	22,838	2,311	102	—					貸出金に占める リスク管理債権 の割合 (C) ÷ (D) 3.77%	
									総与信に占める 金融再生法開示 債権の割合 (A) ÷ (B) 3.74%	

(注1) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 対象債権

・金融再生法開示債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、未収利息および貸出金に準ずる仮払金を対象としております。なお、銀行保証付私募債については、「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額（時価）にて表示しております。

・リスク管理債権：貸出金を対象としております。

(注3) 要管理債権と要管理先債権の違いについて

要管理債権は貸出債権単位の集計であり、要管理先債権は要管理債権を有する債務者への総与信の集計であります。

(注4) 破綻先、実質破綻先および破綻懸念先の自己査定額における分類額

非分類額：引当金、優良担保（預金等）・優良保証（信用保証協会等）等でカバーされている債権

Ⅱ分類額：不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権

Ⅲ分類額：全額または必要額について引当を実施、引当済分は非分類に計上（破綻先および実質破綻先については全額引当済）

Ⅳ分類額：全額償却を実施

(注5) 自己査定結果における（ ）内は、分類額に対する引当額であります。

(5) 業種別貸出状況等 (紀陽銀行単体)

①業種別貸出金

(百万円)

国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	23年3月末	22年3月末比	22年3月末
	製造業	371,319	△ 3,890
農業、林業	3,447	△ 1,130	4,577
漁業	1,894	△ 241	2,135
鉱業、採石業、砂利採取業	5,784	1,391	4,393
建設業	112,779	△ 1,071	113,850
電気・ガス・熱供給・水道業	4,422	△ 492	4,914
情報通信業	9,991	1,731	8,260
運輸業、郵便業	66,104	△ 961	67,065
卸売業、小売業	283,966	△ 545	284,511
金融業、保険業	83,084	3,225	79,859
不動産業、物品賃貸業	322,343	27,447	294,896
各種サービス業	184,804	12,080	172,724
地方公共団体	258,248	172	258,076
その他	796,950	15,919	781,031

②業種別リスク管理債権

(百万円)

国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	23年3月末	22年3月末比	22年3月末
	製造業	12,088	△ 1,408
農業、林業	202	△ 134	336
漁業	12	△ 54	66
鉱業、採石業、砂利採取業	754	727	27
建設業	8,891	△ 4,426	13,317
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	297	△ 611	908
運輸業、郵便業	3,662	△ 296	3,958
卸売業、小売業	17,162	5,532	11,630
金融業、保険業	2,040	1,933	107
不動産業、物品賃貸業	25,753	△ 1,117	26,870
各種サービス業	12,722	944	11,778
地方公共団体	—	—	—
その他	11,099	377	10,722

(6) 消費者ローン残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月末	22年3月末	
		22年3月末比	22年3月末
消費者ローン残高	881,407	26,993	854,414
うち住宅ローン残高	752,980	20,185	732,795
うちその他ローン残高	128,427	6,808	121,619

(7) 中小企業等貸出比率

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月末	22年3月末	
		22年3月末比	22年3月末
中小企業等貸出金残高	1,929,696	60,502	1,869,194
中小企業等貸出比率	77.0	0.8	76.2

(8) 国別貸出状況等(紀陽銀行単体)

①特定海外債権残高

該当ありません。

②アジア向け貸出金

該当ありません。

③中南米主要諸国向け貸出金

該当ありません。

④ロシア向け貸出金

該当ありません。

(9) 預金、貸出金等の残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	23年3月末	22年3月末	
		22年3月末比	22年3月末
預金等(期末残高)	3,461,082	46,278	3,414,804
預金	3,364,810	87,338	3,277,472
譲渡性預金	96,271	△ 41,061	137,332
預金等(期中平残)	3,414,930	147,014	3,267,916
預金	3,324,439	127,483	3,196,956
譲渡性預金	90,491	19,531	70,960

預かり資産残高(期末残高)	215,366	△ 9,771	225,137
投資信託	154,576	△ 365	154,941
国債等	60,790	△ 9,405	70,195
個人年金保険等販売累計額	218,276	7,720	210,556

貸出金(期末残高)	2,505,135	53,632	2,451,503
(期中平残)	2,435,427	58,177	2,377,250

(ご参考) 紀陽銀行 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当連結会計年度末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	116,185	61,889
コールローン及び買入手形	172,972	85,808
債券貸借取引支払保証金	—	20,877
買入金銭債権	3,497	4,273
商品有価証券	4,119	5,328
有価証券	876,237	945,794
貸出金	2,498,564	2,445,529
外国為替	1,858	1,580
その他の資産	31,160	27,719
有形固定資産	34,496	34,507
建物	10,987	10,529
土地	18,840	18,951
リース資産	64	63
建設仮勘定	—	336
その他の有形固定資産	4,603	4,627
無形固定資産	8,530	10,158
ソフトウェア	8,205	1,067
リース資産	37	53
その他の無形固定資産	287	9,036
繰延税金資産	28,776	33,280
支払承諾見返	16,405	18,315
貸倒引当金	△ 30,935	△ 32,969
資産の部合計	3,761,867	3,662,093
(負債の部)		
預金	3,361,650	3,273,455
譲渡性預金	89,271	132,332
債券貸借取引受入担保金	52,168	27,145
借入金	24,513	33,548
外国為替	38	21
社債	15,000	8,000
その他の負債	51,444	26,057
退職給付引当金	28	25
役員退職慰労引当金	32	40
睡眠預金払戻損失引当金	636	590
偶発損失引当金	384	404
再評価に係る繰延税金負債	214	222
支払承諾	16,405	18,315
負債の部合計	3,611,789	3,520,159
(純資産の部)		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	32,357
利益剰余金	35,358	30,344
株主資本合計	147,812	142,798
その他有価証券評価差額金	382	△ 2,407
繰延ヘッジ損益	219	△ 1
土地再評価差額金	316	328
その他の包括利益累計額	918	△ 2,080
少数株主持分	1,347	1,216
純資産の部合計	150,078	141,934
負債及び純資産の部合計	3,761,867	3,662,093

(ご参考) 紀陽銀行 連結財務諸表

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)	(自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)
経常収益	83,731	84,384
資金運用収益	61,385	61,075
貸出金利息	48,084	45,915
有価証券利息配当金	13,016	14,915
コールローン利息及び買入手形利息	92	101
債券貸借取引受入利息	12	9
預け金利息	9	0
その他の受入利息	170	132
役務取引等収益	10,720	10,616
その他の業務収益	7,805	11,214
その他の経常収益	3,820	1,477
経常費用	75,512	71,409
資金調達費用	10,316	8,847
預金利息	8,839	7,378
譲渡性預金利息	213	212
債券貸借取引支払利息	40	160
借入金利息	781	806
社債利息	428	277
その他の支払利息	13	11
役務取引等費用	3,885	3,857
その他の業務費用	3,336	7,857
営業経費	38,338	40,325
その他の経常費用	19,634	10,521
貸倒引当金繰入額	3,408	1,582
その他の経常費用	16,226	8,938
経常利益	8,219	12,975
特別利益	2,285	2,035
償却債権取立益	2,285	2,035
特別損失	61	1,319
固定資産処分損失	53	175
減損損失	7	894
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249
税金等調整前当期純利益	10,443	13,691
法人税、住民税及び事業税	502	604
法人税等調整額	2,282	4,518
法人税等合計	2,784	5,123
少数株主損益調整前当期純利益	—	8,568
少数株主利益	57	130
当期純利益	7,600	8,438

(ご参考) 紀陽銀行 連結財務諸表

(3) 連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)	(自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	—	8,568
その他の包括利益	—	3,016
その他有価証券評価差額金	—	2,794
繰延ヘッジ損益	—	221
包括利益	—	11,584
親会社株主に係る包括利益	—	11,449
少数株主に係る包括利益	—	134

(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当事業年度末 (平成23年3月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	116,170	61,879
現金	32,020	37,556
預け金	84,150	24,323
コーポレート	172,972	85,808
債券貸借取引支払保証金	—	20,877
買入金銭債権	3,497	4,273
商品有価証券	4,119	5,328
商品国債	2,768	3,959
商品地方債	1,350	1,368
有価証券	878,138	947,595
国債	288,566	356,652
地方債	203,322	165,859
社債	105,158	109,327
株	40,485	47,759
その他の証券	240,605	267,996
貸出金	2,505,135	2,451,503
割引手形	28,559	28,838
手形貸付	139,719	141,597
証書貸付	2,096,609	2,028,714
当座貸越	240,247	252,352
外国為替	1,858	1,580
外国他店預け	690	564
買入外国為替	183	83
取立外国為替	984	932
その他の資産	20,179	16,452
前払費用	126	44
未収収益	3,727	3,969
金融派生商品	2,552	1,472
その他の資産	13,773	10,965
有形固定資産	34,575	34,426
建物	10,981	10,522
土地	18,840	18,951
リース資産	715	81
建設仮勘定	—	336
その他の有形固定資産	4,037	4,535
無形固定資産	8,443	10,058
ソフトウェア	8,161	1,027
その他の無形固定資産	282	9,031
繰延税金資産	26,904	31,475
支払承諾見返	16,402	18,309
貸倒引当金	△ 26,910	△ 29,237
資産の部合計	3,761,486	3,660,331

(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表

(単位：百万円)

科目	当事業年度末 (平成23年3月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(負 債 の 部)		
預 金	3,364,810	3,277,472
当 座 預 金	157,031	148,485
普 通 預 金	1,230,712	1,175,043
貯 蓄 預 金	27,817	28,584
通 知 預 金	11,014	17,070
定 期 預 金	1,861,295	1,821,315
そ の 他 の 預 金	76,937	86,973
譲 渡 性 預 金	96,271	137,332
債券貸借取引受入担保金	52,168	27,145
借 用 金	24,513	33,548
借 入 金	24,513	33,548
外 国 為 替	38	21
売 渡 外 国 為 替	6	15
未 払 外 国 為 替	31	5
社 債	15,000	8,000
そ の 他 負 債	43,458	17,582
未 払 法 人 税 等	244	260
未 払 費 用	13,549	11,997
前 受 収 益	1,665	1,680
金 融 派 生 商 品	1,991	1,609
リ ー ス 債 務	687	54
資 産 除 去 債 務	373	—
そ の 他 の 負 債	24,945	1,979
役員退職慰労引当金	32	40
睡眠預金払戻損失引当金	636	590
偶発損失引当金	384	404
再評価に係る繰延税金負債	214	222
支 払 承 諾	16,402	18,309
負 債 の 部 合 計	3,613,931	3,520,669
(純 資 産 の 部)		
資 本 金	80,096	80,096
資 本 剰 余 金	32,357	32,357
資 本 準 備 金	259	259
そ の 他 資 本 剰 余 金	32,097	32,097
利 益 剰 余 金	34,209	29,302
利 益 準 備 金	1,698	1,010
そ の 他 利 益 剰 余 金	32,511	28,291
繰 越 利 益 剰 余 金	32,511	28,291
株 主 資 本 合 計	146,663	141,756
その他有価証券評価差額金	355	△ 2,420
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	219	△ 1
土 地 再 評 価 差 額 金	316	328
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	891	△ 2,094
純 資 産 の 部 合 計	147,555	139,661
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	3,761,486	3,660,331

(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表

(2) 損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前事業年度		当事業年度	
	(自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)		(自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	
経常収益	78,574		79,496	
資金運用収益	61,136		60,860	
貸出金利	47,842		45,750	
有価証券利息	13,010		14,866	
コールローン利息	92		101	
債券貸借取引受入利息	12		9	
預け金利息	9		0	
その他の受入利息	170		132	
役務取引等収益	8,558		8,442	
受入為替手数料	2,874		2,838	
その他の役務収益	5,683		5,604	
その他の業務収益	5,093		8,713	
外国為替売買益	201		272	
外国債等債券売却益	4,834		8,205	
金融派生商品収益	—		144	
その他の業務収益	57		89	
その他の経常収益	3,785		1,480	
株式等売却益	2,123		76	
その他の経常収益	1,662		1,404	
経常費用	70,187		66,573	
資金調達費用	10,329		8,855	
預金達利息	8,844		7,384	
譲渡性預金利息	224		217	
債券貸借取引支払利息	40		160	
借入金利息	781		806	
社債利息	428		277	
金利スワップ支払利息	8		8	
その他の支払利息	1		0	
役務取引等費用	4,491		4,530	
支払為替手数料	588		585	
その他の業務費用	3,902		3,945	
その他の業務費用	1,059		5,807	
商品有価証券売買損	0		26	
外国債等債券売却損	1,035		5,780	
外国債等債券償却	11		—	
金融派生商品費用	12		—	
営業経常費用	36,934		38,844	
その他の経常費用	17,372		8,534	
貸倒引当金繰入額	2,713		894	
貸出金償却	3,986		3,270	
株式等売却損	2,657		2,395	
株式等償却	6,676		961	
その他の経常費用	1,337		1,012	
経常利益	8,387		12,923	
特別利益	1,831		1,374	
償却債権取立	1,831		1,374	
特別損失	59		1,319	
固定資産処分	51		175	
減損	7		894	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—		249	
税引前当期純利益	10,159		12,978	
法人税、住民税及び事業税	60		60	
法人税等調整額	2,538		4,586	
法人税等合計	2,598		4,646	
当期純利益	7,560		8,332	